

3メートル転落 鉄筋が 顔から肺に刺さり、死亡

積み降し作業中の、荷台からの墜落・転落に注意しましょう

転落を未然に防ぐ

『背中を荷台の外側に向けない』ようにする

(後ずさりは厳禁)

建設現場で3メートルの高さから落下 搬送された現場監督の男性が死亡

長さ60cmの鉄筋が、顔から肺にかけて刺さり

工事の片づけをしている際に、バランスを崩して落下

2025/6/4(水)

東京都の建設現場で男性作業員が落下した事故で、意識不明の状態
で病院に搬送された男性が死亡しました。

3日、作業員の男性（22）が地上3メートルほどの高さから落下する事故
がありました。

長さ60cmの鉄筋が顔から肺にかけて刺さり、男性は意識不明の状態
で病院に搬送されましたが、3日夜、死亡しました。

死因は出血性ショックとみられています。

男性は現場監督で、午前8時ごろから行われていた工事の片づけをして
いる際に、バランスを崩して落下したということです。